

## 序

さる昭和53年度より行われている法隆寺防災工事に伴う事前発掘調査は、奈良国立文化財研究所及び奈良県立橿原考古学研究所の全面的協力のもとに進行している。調査の範囲が導水管敷設位置等に限られているが、現在までにかかなりの成果を挙げられている。今後も続行される発掘調査に依る新資料の発見に大いなる期待が寄せられているが、一応今年までの調査の概要をここに公刊し、その調査結果を多くの研究者に披歴することに依りて法隆寺研究が一層進展することを強く希望すると共に、発掘調査に御協力をいただいている諸機関に対し厚くお礼を申し上げたい。

昭和57年 7月

法隆寺管主

大野可圓